

ペタンク

特徴

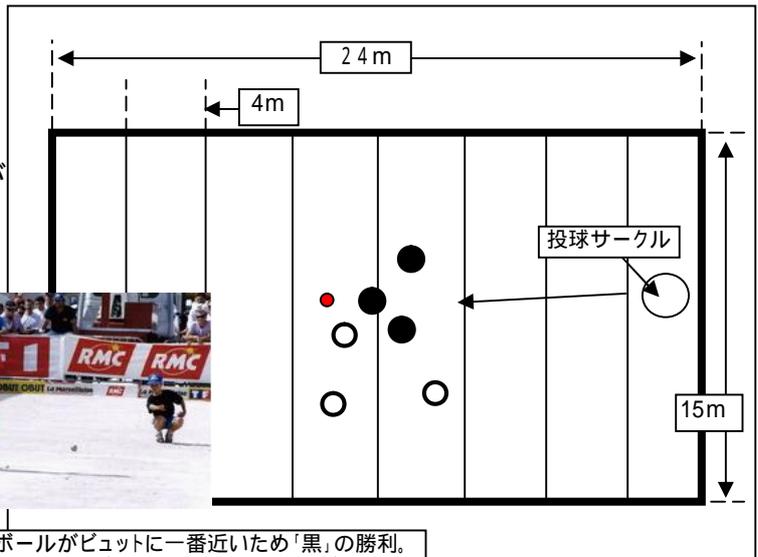
ペタンクは、1910年に南フランスで生まれたボールスポーツです。助走をつけて投球するゲームが、全員同じ場所から投球するようになり、「ピエタンケ(両足をそろえるの意味)」からペタンクとなったといわれています。

ビュットという小さい球(目標球)を投げ、それに向かって金属製の球を投げあい、より近い方が勝利となります。

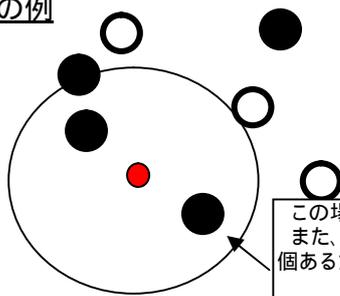
ルールも単純で、体力もそれほど必要ないことから、子供や高齢者にも気軽にできるスポーツです。

コート大きさや使用する道具

ビュット: 目標球 直径2.5cm ~ 3.5cm
ボール: 金属製の球
直径7.05cm ~ 8.00cm
重さ 650g ~ 800g
敵味方の区別をするため溝に色が入っている。
メジャー: ビュットとボールとの距離を測る。
2m程度のものが最適



得点の例



この場合は、黒のボールがビュットに一番近いので「黒」の勝利。
また、得点は、一番近い白いボールの内側に、黒真のボールが3個あるため、黒チームの得点は3点となる。

ルール・競技規則など

対戦人数とボールの数

シングルス(1対1) ボールは各自3個ずつ ダブルス(2対2) ボールは各自3個ずつ

トリプルス(3対3) ボールは各自2個ずつ

先攻・後攻を決め、先攻チームは、投球するためのサークルを設定する。そのサークル内から「ビュット(目標球)を6~10mの間に投げる。(6m以下、10m以上の場合はやり直し。)

その後、ボール(鉄球)をそのビュットに近づけるように投球する。続いて、後攻チームが同じようにボールを投球し、その後は、ビュットに遠いチームが投球する。(ビュットに遠いチームの投球が、ビュットに近くならない限り投球を続ける。全球投げきった場合は、その後近いチームが投球することになる。)

全球を投球後、ビュットに一番近い球を投げたチームが勝利となる。

得点は、ビュットに最も近いチームのボールが、相手チームのビュットに一番近いボールの内側にいくつあるかによって得点が決まる。

上記「得点の例」によると、黒のボールが最も近いので、黒チームの勝利。得点は、ビュットに最も近い相手ボール(白ボール)の内側に、黒いボールが3個あるため、黒チームの得点は3点となる。

全投球が完了し、得点の計算ができた時点で、1セット(「メヌ」という。)が終了する。

そのメヌに勝利したチームは、ビュットの位置に「投球サークル」をセットし、反対側にビュットを投球し、ボールを投球する。

何回かのセットを繰り返し、先に13点を先取したチームの勝利となる。

投球したボールが、ビュットにあたり、ビュットが移動した場合、移動した場所に対しての距離となる。

詳しい内容を知りたい場合

公益社団法人日本ペタンク・プール協会 ホームページ: <http://fjpb.web.fc2.com/>